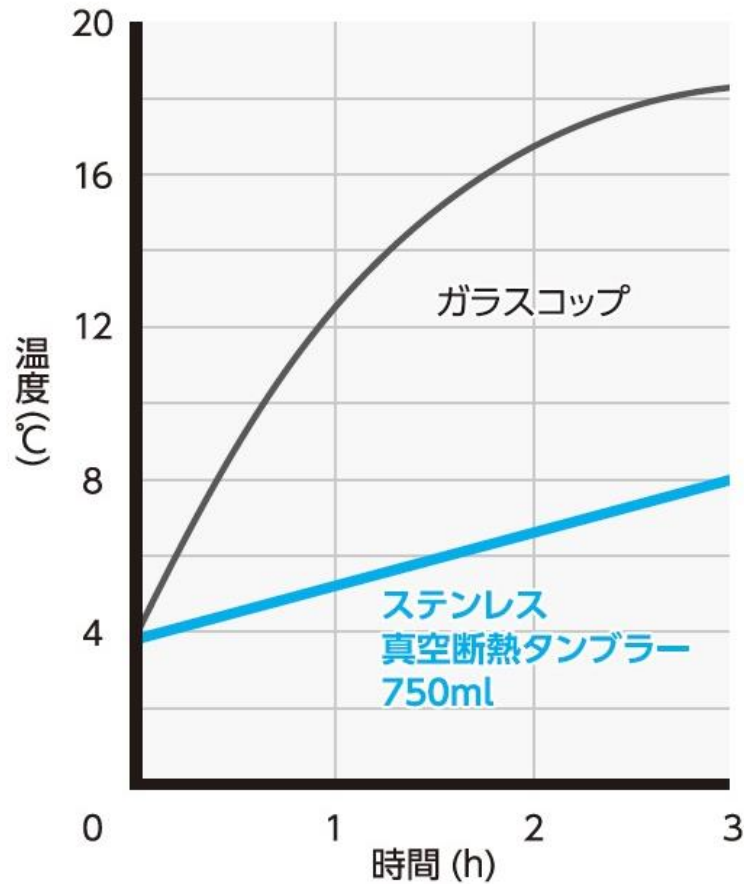


●真空断熱構造で温度キープ力 アップ

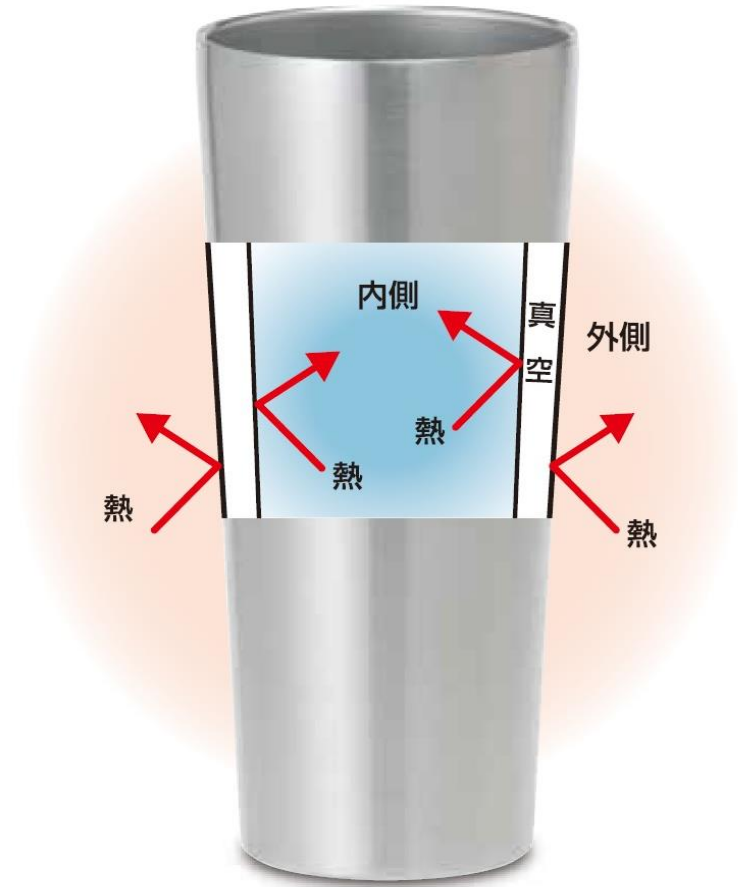
保冷性能比較

(ステンレス真空断熱タンブラーとガラスコップの比較)



※室温20度±2度において、タンブラーと比較試験用容器のガラスコップ(ビールジョッキ)に4度以下の水を500ml入れ、水温が約4度になった時点から測定した実施値。

※中身の量が少ない場合や使用状況によっては、上のグラフに示す保冷性能が発揮出来ない場合があります。



※本体の内側と外側が二重構造になっており、二重壁の間を真空状態にすることで熱の移動を防ぐ仕組みになっています。

※熱は、温度の高い方から低い方へ物体を介して移動する性質を持っていますが、真空状態では熱を伝える気体分子がほとんど無いため、熱の移動を妨げます。(放熱を防ぐ効果)

**外側の熱が内側に伝わるのを防ぐので、
飲み物の適温を長時間保ちます。**